

春の火災予防運動特集

平成25年2月16日発行

消防本部予防課

☎254-0354 ☎256-7755

2012年度全国統一防火標語

消すまでは 出ない行かない 離れない

春の火災予防運動期間

3月1日～7日

3月1日～7日、全国一斉に春の火災予防運動が実施されます。

冬から春へ季節が移り変わるこの時期は、空気が非常に乾燥して火災が発生しやすく、また強い季節風により、大火になりやすい時期でもあるので、火の元には十分気を付けましょう。



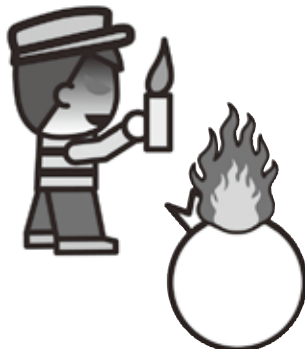
住宅火災の出火原因の上位は たばことこんろ

昨年1年間に発生した火災の件数は127件で、このうち住宅火災は35件でした。

出火原因は、1位の放火(疑いを含む)が21件、2位のたき火が12件でした。住宅火災の原因は、たばこが6件で1位、次いでこんろが4件で2位でした。

放火による火災を防ぐには

放火による火災は、防ぎようがないと思われがちですが、いくつかの点に注意することで、放火されにくくすることができます。放火されないよう、また万一放火されても被害を大きくしないよう、次の点に注意しましょう。



- 家の周りに外灯を付けるなど明るくして、燃えやすいものを置かない。
- ごみは指定された日の朝以外に出さない。
- アパートの階段や通路部分は整理整頓する。
- 自転車やバイクのかごに物を置かない。

たばこによる火災を防ぐには

たばこによる火災の原因は、喫煙者が火気管理を徹底しなかったことや、不注意によるものです。

これらを防ぐため、次の点に注意しましょう。

- 布団やシーツなどの寝具類やパジャマなどの衣類は防災品を使用しましょう。
- たばこは必ず灰皿のある場所で吸い、その周囲は常に整理整頓しておきましょう。
- 灰皿は、ふちが大きく深めのものを使い、いつも水を入れておきましょう。
- たばこを捨てるときには、水を掛けるなど火が完全に消えていることを確認しましょう。



たばこが原因で起きた火災現場